

## 8/28 身近な水の大切さを知って ～上・下水道展～



▶マジックとあそびつくんの初演。子どもたちに大人気でした。

上下水道展があらおシティモールで開催されました。今年は水の大切さを知ってもらおうと、熊本県の下水環境課も参加しました。水処理コーナーでは、下水処理場で飼育されたホタルの幼虫の展示や、汚水処理施設の縮小版で水処理が実演され、訪れた子どもたちは興味深く見入っていました。試飲コーナーでは荒尾の水道水とミネラルウォーターを飲み比べる、利き水体験が行われ、水道について楽しく学ぶことができました。

## 9/1 地域社会へ感謝し、奉仕の心を尽くす ～有明高校さわやか奉仕活動～



▶荒尾駅の清掃活動には、生徒が携わりました。看護科3

有明高等学校の全校生徒 644 人が参加し、「さわやか奉仕活動」を行いました。有明高校は今年創立 50 周年を迎え、この清掃活動も 35 回目になります。学校周辺や通学路を清掃することで地域社会へ貢献しようと、毎年二学期の始業式後に全校生徒が参加して行っています。生徒たちは「暑いし大変ですが、長く続いている行事で素晴らしいと思う」と話していました。また、ごみを一つ一つ丁寧に集めながら、「将来は地元で働きたい」とも話してくれました。

## 9/10 初秋の風物詩 歴史ある伝統の神事 ～上井手神社夜燈まつり～



▶尼が島の交差点で白装束と黒装束の若衆が合流します。

上井手神社夜燈祭りが開催されました。夕闇迫る頃、「諸願成就」の巨大な横行燈と笹行燈、高張提燈とともに白と黒の紋付をまとった若衆が、練り歩きました。この祭りは 400 年以上の歴史を持つといわれています。神社の階段には、荒炎祭で使用された行灯が飾られていて、訪れた人の足元を照らしていました。境内では竹灯籠・ねずみ火という仕掛け花火が拝殿に吊るされた提灯に向かって勢よく放たれ、観客も歓声を送っていました。

## 9/11 中秋の名月を前に 月をたのしむ ～赤田こすもすの里 月見会～



▶月を背にして、「月」にちなんだ詩吟が披露されました。

赤田こすもすの里で、月見会が行われ、地域の住民の皆さんなどおよそ 60 人が参加しました。今年で 9 回目になるこの催しは、日頃からまちづくり活動に携わっている地域の人たちの、慰労と親睦を目的に行われています。この日はちょうど、中秋の名月の前日。雲間から顔を出した小望月の明かりの下、参加者は詩吟やフラダンスなど地域の皆さんによる出し物を楽しみ、食事をしながら初秋のひとときを楽しく過ごしていました。



①防災ヘリ「ひばり」 ②行方不明者捜索訓練  
③⑥救出救護訓練 ④災害復旧訓練  
⑤災害対策本部 ⑦自主防災組織の消火訓練



9月4日(日)、平成23年度荒尾市総合防災訓練を実施しました。平成19年度から実施し今年で5回目。消防署、警察署など防災関係機関の協力のもと、災害時の初動や連絡体制の充実を図ることができました。熊本県防災消防ヘリコプター「ひばり」や地震体験ができる起震車も訓練に参加し、例年よりも多いおよそ500人が観覧しました。自主防災組織の人も初期消火訓練を体験され、今後の地域防災力の向上が期待されます。

# 防災訓練

## 災害に強いまちづくり

荒尾市は今年、4機関団体と災害協定を結びました。この協定により広域的な協力体制を構築することができます。

国土交通省九州地方整備局	NPO 法人コメリ災害対策センター
災害時の応援を直接、国土交通省にできる	災害時に避難所などで必要な物資の供給ができる
南九州ペプシコーラ販売株式会社	荒尾市建設業協会
災害時に避難所などで必要な飲料水の供給ができる	災害時の資機材、技術者などの出動により、災害応急活動ができる



◀荒尾市建設業協会との締結式